

平成 1 5 年度

県立高等技術専門校
評価システム

外部評価結果

郡山高等技術専門校

目 次

1	外部評価結果（総括）	1
2	普通課程		
	(1) 機械制御システム科	2
	(2) 電気制御システム科	4
	(3) 情報制御システム科	6
	(4) 自動車整備科	8
	(5) 建築デザイン科	10
3	在職者訓練	12
4	離転職者訓練	14
5	運営	16

外部評価結果報告（総括）

郡山高等技術専門校評価委員会

1 はじめに

この外部評価は、福島県立郡山高等技術専門校の求めに応じ、同校が県中地域の産業構造の変化や企業ニーズに適時的確に対応していくために、マネジメントサイクルの確立により職業能力開発及び運営の改善を図る目的で同校の現状を分析・検討したものであります。

2 評価の概要

委員会において評価した詳細は別に記載しますが、主な事項について列記します。

(1) 短期大学校へ向けての検討

実質的な教育訓練時間・内容は短大校とほぼ同等レベルにありながら、短期大学校としての設置がされていないために卒業生は、「多能工」としてしか取り扱われず、資格取得・就職後の位置づけ等で非常に不利な状況にあります。組織上も実習・実技を主体とした短期大学校化を目指すべきであります。

例えば県内に三校ある郡山、会津、浜の三施設・設備および指導員を再編または有効活用することによって、「(仮称)福島県立産業短期大学校郡山校舎、会津校舎、浜校舎」という体制が考えられ、これによって新たに大規模な施設整備、人員配置を行うことなく短大化のための基準をクリアすることが可能であると考えます。

また、これにより、卒業生が「実践技術者」として様々な資格要件等を得ることが出来ますし、職員の意識・意欲向上にもつながるものであります。

(2) カリキュラム、学科、組織体制の見直し

現下の急激なグローバル化により、産業界のニーズはめまぐるしく変わっております。常に地域ニーズ・産業ニーズを把握し、そのニーズに適合しているか常に検証することは必須であると考えます。こうした地域・産業ニーズに適合させるために、カリキュラムの見直しは常に必要であり、また、学科の見直し、組織体制の見直し等も必要に応じ大胆に実施すべきであります。

さらに、技術開発は形になることで日の目を見るものであり、ものづくりに特化した公共施設として、精密加工や微細加工分野に対応した科の再編も考慮に入れなければなりません。

こういったことから、例えば情報、電気、機械に共通する「制御」について一年時に総合的に学習させ、二年時に希望に応じてコース分けするという方式で、「(仮称)総合制御学群」とし、二年時に精密加工コース・自動制御コース・情報制御コースに分かれるといったやり方などが考えられます。

(3) 在職者訓練・離転職者訓練

長期化する厳しい経済情勢を踏まえて、在職者訓練を継続的に実施する意義は大きくなっていきます。ついては、地域・産業ニーズや受講希望者の動向などに配慮することと、当該訓練内容に対応した施設・設備の改善が今後の課題であります。

離転職者訓練については、公共職業安定所はもとより地元企業（委託訓練先）などとの連携により実績を上げています。このため、厳しい経済情勢の中で一人でも多くの受講者が再就職できるように当該訓練の継続的な充実に期待するものであります。

(4) 運営

概ね評価出来ますが、福利厚生に改善を要します。特に施設の老朽化対策と保健室の確保は急を要します。また、教育施設として不十分である図書室は、近隣の大学図書館等との連携を図ることを提案します。

3 おわりに

郡山高等技術専門校の評価結果については、AとすべきかBとすべきか迷ったところではありますが、ニーズに対するさらなる対応強化と施設等の若干の改善を期待してAに近いBとしたところであります。

全体的に知恵を出し努力し、よく運営している姿勢は認められますが、製造業では少量多品種の時代となり、技術者に求められる能力は、複合化しさらに高度化しているため、地域ニーズである『ものづくりに特化した施設作り』のための科目の再編が課題であると考えます。

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

〔郡山校/機械制御システム科〕

評価項目		外部評価			
大項目	中項目	小項目	指標	A B C	
普通課程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	【課題】	
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	【課題】 ・訓練目標に地域・産業ニーズが含まれているが、技術の進歩は速くなっているため、見直しを2～3年で行う必要がある。	
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	【課題】 (寸評)・訓練目標の達成への努力がされている。	
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	【課題】 ・適切に行われているが、ハイテクとそれを支えるローテク、この両面の指導が肝要である。	
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	【課題】	
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあつた訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率	1.0以上	【課題】 ・応募理由の分析も大切である。(実績)・応募倍率1.50倍は、昨今の厳しい経済情勢の影響もあると思われる。
			就職状況	就職率	100%
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率	概ね100%	【課題】 ・定着率を調査するシステムを構築する必要がある。 ・また、就職後の追跡調査などを踏まえ、定着指導を図る必要がある。
		(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率	概ね100%

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
普通 課程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 (寸評)・目標に掲げられている資格の合格率が全国平均を上回っている。		

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価		
A : 評価できる	B : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】 ・応募状況、就職状況とも良い状況にある。訓練目標、訓練計画が適切に設定されており、地域職業能力開発推進会議（協議会）も活かされている。 ・企業の現場においては、数ミクロン公差が普通になり、携帯電話など身近にある物もサブミクロンの加工技術で生産されている状況にあることを考えると、国が定めている訓練基準は現実と合わなくなっているの で、これらの企業現場に関する知識だけでも持たせる必要がある。 時代の変化への対応と基礎的能力向上の継続を実施する必要がある。		

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

〔郡山校/電気制御システム科〕

評価項目		指標		外部評価		
大項目	中項目	小項目	指標	A	B	C
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練 目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	——	A	B	C
		【課題】				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	——	A	B	C
		【課題】 ・変化する産業界のニーズを的確に把握し、指導計画への反映が必要。				
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	——	A	B	C
		【課題】 (寸評) ・工夫が施されている。 ・少ない職員で努力されている。				
	(2)普通課程訓練 内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	——	A	B	C
		【課題】 ・制御の基礎を十分に指導することと、メカトロニクス関連の内容を充実させる必要がある。				
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	——	A	B	C
		【課題】				
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあつた訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	A	B	C
		【課題】 ・応募状況は良いと思われる。科の内容を詳しく紹介したリーフレット等の作成検討が必要。				
(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	A	B	C	
	【課題】 (寸評) ・就職状況は良好である。 ・求職者の望む職場に就職できるようさらに努めていくことが必要。					
	定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	A	B	C	
	【課題】 ・定期的な就職後の動向調査やフォローアップが必要。					
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	A	B	C	
	【課題】 (寸評) ・実施状況は良好と思われる。 ・高合格率を維持することが必要。					

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
普通課程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】		
				<ul style="list-style-type: none"> ・第1種電気工事士の合格率を上げることが必要。 ・資格と実技のバランスを考慮する必要。 		

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価		
A : 評価できる	B : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ導入は、重要課題と思われ実施している。今後も外部情報を多く取り込み指導をお願いします。 ・産業界のニーズが目まぐるしく変化する中で、設備・指導内容も適宜改善して欲しい。 ・施設全体として老朽化しているので、新築におけ中長期の計画を地域の産業界のニーズも踏まえ、立案する必要がある。 ・教科編成指導要領、施行規則別表第2など、改訂が必要。 		

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

〔郡山校/情報制御システム科〕

評価項目				外部評価		
大項目	中項目	小項目	指標	A	B	C
普通課程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育てるため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	——	【課題】		
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	——	【課題】 ・ニーズは多様化し変化も非常に速いため、どのようなニーズが要求されているか見極めが必要 ・科のあるべき姿の的確なニーズの把握と、カリキュラムへの反映が不可欠		
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	——	【課題】 (寸評)・少ない職員で工夫と努力がなされている		
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	——	【課題】 ・市場ニーズを把握し、随時カリキュラムの見直しが必要		
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	——	【課題】		
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあつた訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率	【課題】 (寸評)・応募状況は良好である。		
			1.0以上			
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率	【課題】 (実績)・就職状況は良好である		
			100%			
	(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	定着率	【課題】 ・就職後の状況調査が必要 ・企業との交流・意見交換の場が必要		
			概ね100%			
	(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率	【課題】 ・試験方法の見直しが必要 ・実施状況は良好(寸評)		
概ね100%						

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
普通 課程	(7)資格取得 各訓練科の普通 課程において、資 格取得目標が掲げ られ、資格が取得 されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程に おいて、資格取得目標が 掲げられ、資格が取得さ れていること。	—	【課題】		
				<ul style="list-style-type: none"> ・さらに合格率を上げる努力が必要 ・企業ニーズに即した、役に立つ資格の取得 		

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価		
A : 評価できる	B : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズは多様化し変化も非常に速いため、どのようなニーズが要求されているか見極めが必要 ・科のあるべき姿の的確なニーズの把握と、カリキュラムへの反映が不可欠 		

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

〔郡山校/自動車整備科〕

評価項目				外部評価		
大項目	中項目	小項目	指標	A	B	C
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練 目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	【課題】		
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	【課題】 ・国土交通省及び厚生労働省の基準時間において制約があるため地域ニーズを取り入れるのが難しい。資格取得がニーズの第一と思われる。		
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	【課題】 (寸評)・努力されている。		
	(2)普通課程訓練 内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	【課題】 (寸評)・2級整備士の資格取得が強く求められている。100%取得している。		
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	【課題】		
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあつた訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	【課題】 (実績)・4.10倍		
(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	【課題】 (実績)・就職率100%			
	定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね100%	【課題】 ・定着指導の充実を図る必要がある。(入試において本人の適正等が確認できれば定着性も向上する。)			
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門校が必要と認める技能・	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね100%	【課題】 (実績)・100%である。			

評 価 項 目				外 部 評 価
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	
普 通 課 程	知識が修得されていること。			
	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	A B C 【課題】 (実績)・概ね100%である。

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価	
A : 評価できる	B : おおむね評価できるが一部改善を要する C : 改善を要する
【内容】 ・応募、就職、資格取得の達成率は申し分ない。 特に、2級自動車整備士の資格取得が地域ニーズの第1であり、その目標に向かって努力されているが、資格取得以外の地域ニーズ導入に係わる見直しも必要ではないか。 ・施設設備が不足しており、訓練に十分な環境にない。	

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

〔郡山校/建築デザイン科〕

評価項目				外部評価		
大項目	中項目	小項目	指標	A	B	C
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練 目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	【課題】		
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	【課題】 ・表面化されないニーズについて探すことも必要。 (寸評)・(建築文化としての考え方も必要であり最近はその傾向も出ている。)		
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	【課題】		
	(2)普通課程訓練 内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	【課題】 ・地域、産業ニーズの勘案が不十分である。		
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	【課題】		
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあつた訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	A B C		
				【課題】		
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	A B C		
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね100%	【課題】 ・追跡調査が必要。		
	(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね100%	A B C		
				【課題】		

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

(郡山校/建築デザイン科)

評価項目				外部評価		
大項目	中項目	小項目	指標	A	B	C
	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】		

総合評価 (普通課程)

外部評価		
A : 評価できる	B : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】 ・ 学生一人ひとりの適性をよく理解し、実務社会に適応できるように努力をしている。人間性や実践的な充実した指導を行っている。		

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

〔 郡山校 〕

評価項目				外部評価			
大項目	中項目	小項目	指標	A	B	C	
2 在 職 者 訓 練	(8)在職者訓練目標 キャリアアップ等を図るための在職者訓練目標が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、在職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	—	A	B	C	
		【課題】 ・ 今後は受講希望者の動向をふまえてコースを見直す必要がある。 (寸評)・(ヒアリングの結果)在職者コースごとに目標が設定されている。					
		ニーズ導入 目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	B	C	
		【課題】 ・ 地域産業ニーズを勘案していると判断できるが、急速な情報化の発展などに即応できるようにハード、ソフトの充実が求められる。 ・ 一部コースでは習熟度が明確でない。					
		目標達成 在職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	A	B	C	
		【課題】 (寸評)・在職者訓練コースを受講した者の各種資格の合格率が高く、受講者の満足度も高く、目標は達成されている。 ・アンケート調査などにより改善されている。					
	(9)募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	—	A	B	C	
		【課題】 (寸評)・従来の配布方法に加えて、インターネットのHP(ホームページ)なども積極的に活用されれば、なお効果が上がると思われる					
	(10)在職者訓練内容 在職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	在職者訓練計画 在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	B	C	
		【課題】 (寸評)・各種資格や技能修得などのセミナー(訓練コース)が、毎年適切に計画され、実施されている。					
	在職者訓練実施状況 学科・実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	B	C		
	【課題】 (寸評)・当該在職者訓練の内容は計画どおりに実施されている。						
(11)在職者訓練環境 在職者訓練の目標の達成及び内容の充実のため、必要な施設・設備整備がなされていること。	施設整備 在職者訓練のために必要な施設が計画的に整備され、改善されていること。	—	A	B	C		
	【課題】 ・ 今後とも、在職者訓練を継続していくためには、現有施設や設備機器の改善を早期に計る必要がある。(更新計画と優先順位 プライオリティ の策定)						
	設備整備 在職者訓練のために必要な設備が計画的に整備され、改善されていること。	—	A	B	C		
	【課題】 ・ 情報機器などの更新計画や教育用設備機器(各種投映装置など)の充実が求められる。						

総合評価（在職者訓練）

外部評価

A：評価できる

B：おおむね評価できるが一部改善を要する

C：改善を要する

【内容】

- ・ 長期化する厳しい経済情勢を踏まえて、在職者訓練を継続的に実施する意義は大きい。ただし、地域・産業ニーズや受講希望者の動向などに配慮することと、当該訓練内容に対応した施設・設備の改善が今後の課題である。

評価項目				内部評価 外部評価		
大項目	中項目	小項目	指標	A	B	C
3 離 転 職 者 訓 練	(12) 離転職者訓練目標 キャリアアップ等を図り、再就職を支援するための離転職者訓練目標が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、離転職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	—	【課題】 (寸評)・過年度の実施データなどから適切に離転職者訓練コースが設定されている。		
		ニーズ導入 目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	【課題】 (寸評)・地元企業などとの連携によって当該訓練が実施されている。		
		目標達成 離転職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	【課題】 (寸評)・受講数は、必ずしも多くないが、少人数であることが幸いして訓練計画の進行管理が容易となり、目標達成率が高い。		
	(13) 募集方法 離転職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 離転職者に訓練コースの内容が周知されていること。	—	【課題】 (寸評)・インターネットを活用した広報に期待したい。 ・離転職者向けということで職安との連携が十分とれている。		
		(14) 離転職者訓練内容 離転職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための離転職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	離転職者訓練計画 離転職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	【課題】 (寸評)・地域企業などとの連携のもとに当該訓練が適切に実施されている。	
	離転職者訓練実施状況 学科・実技に係る内容が計画どおり実施されていること。		—	【課題】 (寸評)・当該訓練は計画どおりに実施されている。		
	(15) 就職支援 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援活動が行われていること。	支援状況 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援が適切に行われていること。	—	【課題】 (寸評)・過去の実績から、確実に再就職支援が実施されている。		
		就職状況 公共職業安定所等との連携により、就職していること。	—	【課題】 (寸評)過去の実績により評価できる。		

総合評価（離転職者訓練）

外部評価

A：評価できる B：おおむね評価できるが一部改善を要する C：改善を要する

【内容】

- ・ 本校における離転職者訓練は、公共職業安定所はもとより地元企業（訓練委託先）などとの連携により実績を上げている。
- ・ 厳しい経済情勢の中で、1人でも多くの受講者が再就職できるように当該訓練の継続的な充実に期待したい。

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
4 運 営	(16)組織・管理運営 普通課程・在職者訓練・離転職者訓練における目標の達成及び内容の充実のため、十分な支援体制がとられていること。	訓練組織 普通課程・在職者・離転職者訓練における目標の達成及び内容の充実のため、指導体制が十分とられていること。	—	A	B	C
		指導員研修 指導員の知識・技能等を高めるための各種研修が、地域・産業ニーズを踏まえ実施されていること。	—	A	B	C
		地域職業能力開発推進会議（協議会） 同会議の開催により地域・産業ニーズ等を把握し、各訓練科の教育内容の充実に活かしていること。	—	A	B	C
	(17)福利厚生 学生が目標に向かって充実した生活を営めるよう、図書室・食堂・寮・体育館・グラウンド等の施設整備がなされていること。	福利厚生施設 学生の福利厚生に必要な施設が計画的に整備され、改善されていること。	—	A	B	C

総 合 評 価 （ 運 営 ）

外 部 評 価

A：評価できる B：おおむね評価できるが一部改善を要する C：改善を要する

【内容】

- ・ 概ね評価出来るが、福利厚生に改善を要する。
- ・ 施設の老朽化対策を要する。
- ・ 教育施設として、不十分である現有の図書室は、近隣の大学図書館などと連携を図るべきである。